

		※ 入居	年 月 日		※ 入居団地	
※ 受付番号		※ 補欠順位	※	特例入居該当者・その他		
成ヶ丘住宅入居申込書 私は、成ヶ丘住宅に入居したいので関係書類をそえて下記のとおり申請します。 なお、この記載内容が事実と相違するときは、申請に関する一切の権利を放棄することを誓約します。 私又は同居しようとする者が暴力団員による不正な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員であるときその他入居資格を欠くときは、入居の申込みを無効とされても異議を申し立てないことを誓約します。また入居資格の審査に当たり、私及び同居しようとする者が同号に規定する暴力団員に該当するかどうかについて、大月町長が警察に対して照会することに同意します。						
現住所	☎ ()					
職業及び勤務先の住所	☎ ()					
年 月 日 大月町長 様		ふりがな				
		申請者氏名		⑩		
		生年月日		年 月 日		
		個人番号				
希望団地						
記入事項 1 成ヶ丘住宅入居者募集案内をよく読んだ上で記入してください。 2 この申請書は、インクで正しく読みやすく記入してください。 3 該当欄に記入し、又は○印を附してください。(※印の箇所は、記入する必要はありません。) 4 入居する親族欄は、同居、別居にかかわらず、入居しようとする親族を全部記入してください。なお、別居の人は、下欄にその続柄番号と現住所及び別居の理由を併せて記入してください。 5 給与所得証明欄及び給与以外の所得欄は、入居しようとする本人及び家族のうち収入を得ている人全員の総収入(前年)をそれぞれ記入して申請してください。給与所得者が2人以上いる場合は、同じ様式ではり足してください。 6 事業所得のある人は、事業所得証明書を添付してください。 7 入居しようとする本人及び家族の住民票を必ず添付してください。						

様式第1号(第3条関係)

(その2)

所得源泉徴収票添付欄	給与所得証明欄	ふりがな氏名					勤務年数	年	職 種		
		過去1年間の給与支払総額(税込一時金含む。)	年 月	円	年 月	円	年 月	円	年 月	円	
			年 月	円	年 月	円	年 月	円	年 月	円	
			年 月	円	年 月	円	年 月	円	年 月	円	
		所得税法上の控除対象配偶者の有無	有・無	所得税法上の扶養親族の氏名			合 計				
		上記の者は、年 月 日から当社に勤務し、記載事項に相違ありません。 年 月 日 勤務先の名称 勤務先の所在地 給与支払者氏名 ☎ ⑩									
		ふりがな氏名					勤務年数	年	職 種		
		過去1年間の給与支払総額(税込一時金含む。)	年 月	円	年 月	円	年 月	円	年 月	円	
			年 月	円	年 月	円	年 月	円	年 月	円	
			年 月	円	年 月	円	年 月	円	年 月	円	
所得税法上の控除対象配偶者の有無	有・無	所得税法上の扶養親族の氏名			合 計						
上記の者は、年 月 日から当社に勤務し、記載事項に相違ありません。 年 月 日 勤務先の名称 勤務先の所在地 給与支払者氏名 ☎ ⑩											
給与以外の所得	ふりがな氏名			事業開始年 月 日	年 月 日		事業の内容				
	過去1年間の総収入額 (所得税法上に基づく必要経費含む。)	年 月	円	年 月	円	年 月	円	年 月	円		
		年 月	円	年 月	円	年 月	円	年 月	円		
		年 月	円	年 月	円	年 月	円	年 月	円		
	所得税法上に基づく必要経費額(内容を説明することのできる内訳書を別に持参してください。)				円	合 計					
所得額の記入に当たっては 1) 古い月から順に欄をたてに使用してください。 2) 一時金(賞与等)は、該当する年月の欄に通常の給与とは別に2段書きしてください。											
※収入認定額(計算欄)		平均月収額－扶養控除額＝認定額 ＝ 円									

様式第1号（第3条関係）

（その3）

入居する親族の現況	続柄		氏名	個人番号		生年月日	年齢	性別	健康状態	職業	摘要
	1							男・女			
	2							男・女			
	3							男・女			
	4							男・女			
	5							男・女			
	6							男・女			
	7							男・女			
	上記のうち現在別居している者 (再記入)	続柄		現住所			別居始期		別居理由		
住宅に困窮している理由	現住所	住宅の持ち主		自己所有・他人所有・その他			住宅の構造		木造・鉄骨・鉄筋コ・その他		
		貸主		氏名			住所				
		家賃		家賃月額 円							
	住宅困窮理由	1	住宅以外の建物又は場所に住居している。							該当する番号に○印を付し、その理由を詳しく記入してください。	
		2	他人の世帯と同居し、著しく生活上不便を受けている。								
		3	住宅がないため親族と同居することができない。								
		4	住宅が狭く世帯人数が多過ぎて過密居住である。								
5		間取りと世帯構成との関係から衛生上有害又は風教上不適当な状況									
6	住宅がないため勤務場所から著しく遠い地に居住している。										
7	その他住宅に困っている。										
※審査	決定			その他							
	書類審査		適格・不適格								
	委員会意見		適格・不適格								
	入居資格の有無の判断 有 無										